

きらめき

vol. 35

2021.7.10

＼引き渡しを終え、記念撮影！／

天橋園、完成



発行／社会福祉法人 北星会

〒626-0033 京都府宮津市字宮村1277

TEL：0772-22-8233 FAX：0772-22-8477

ホームページ：http://www.hokuseikai.or.jp/

Eメール：info@hokuseikai.or.jp

編集／広報誌編集委員会

法人バーセルインデックス 研修について

令和3年度介護報酬の改定により、科学的介護情報システム「LITE」の活用が必要となりました。今回の研修では平成30年度介護報酬の改定より導入され、日常生活動作を測定する指標のひとつであるバーセルインデックスについて、北星会の通所サービス職員を対象に研修を行いました。

研修内容としては、バーセルインデックスの概要と主な項目に関する測定方法について、理学療法士から説明しました。説明後の質疑応答では、職員からたくさんの質問をもらい応答に苦勞しました。



したが、有意義な研修となりました。今回のような取り組みは今後も定期的に開催する予定です。

科学的介護情報システム「LITE」により、介護の現場においてアウトカム評価（サービスによりご利用者の状態がどう変化したかという観点からの評価）が可能となります。またバーセルインデックスでは、主に介助者（サービス提供者）の関わり方が測定されます。

この意味、本質を北星会の職員一人一人がしっかりと理解し、これからもご利用者に対して質の高いサービスが提供できるよう各職員、力を合わせて研鑽を積んでいきたいと思っています。

（理学療法士 服部 哲平）

与謝の園デイサービス

マスクケース 制作



現在も猛威を奮っている新型コロナウイルスの為、マスク着用が必須の中、与謝の園デイサービスではマスクケースをご利用者につけてもらっています。ある職員の発案で材料も牛乳パック、折り紙等で制作しやすく、ご利用者の中ではすごくかわいいと評判になっています。

毎日ご利用者がマスクを付けて来所されますが、マスク自体が皆様同じような白い物ばかりで、名前を書いても分かりにくく、入浴等で外され、脱衣かごに入れたつもりが他のご

利用者の物とまぎれてしまい、自分のかどうか分からなくなったことが事の起りでした。

そんな中、手作業で個々のマスクケースを作ってはどうかという意見があり、形、材料、色合いを検討し、材料集めから始めました。比較的パーツが少なく作業的に簡単に出来ないかと話し合い、作ることにしました。入浴の待ち時間、昼食前、午後、レクリエーション等の時間中にご希望された方に作成してもらいました。

ご利用者からはすごく好評が良く、今後も続く感染防止対策の中に一つの楽しみが出来たように思いました。

（山本 淳）





「ご利用者ワクチン接種」



「唾液 PCR 検査」

新型コロナウイルスワクチン接種

新型コロナウイルスの影響により、誰もが様々な我慢を強いられる世の中となりました。入所のご利用者・ご家族には、長期間の面会制限を設けてさせていただきご心配をおかけしております。

施設では、府内及び北部エリアの感染状況にに応じ、オンラインによる面会を実施しています。これまで、たくさんのご家族からご依頼いただき、たくさんの方の笑顔に出会えました。皆様の協力により、施設内におきまして誰一人感染者を出すこ

となくお過ごしいただけていることに感謝申し上げます。

そして、入所のご利用者には、5月1日より新型コロナウイルスワクチン接種を順次進めて参りました。その後2回目のワクチン接種も終了し、心配しておりました副反応も特に認められず、体調不良になられる方もなくお過ごしいただいております。並行して職員のワクチン接種も無事に終了しました。

また、京都府より介護職員を対象としたPCR検査の実施が行わ

れ、全員の陰性が確認されております。

面会制限を解除させていただくまでは、いましばらく時間がかかるかと思われませんが、新しい生活様式に慣れ、毎日楽しい歌声や、ボランティアの方々による演奏が聴け、ご家族との笑顔あふれる賑やかな面会ができる日が一日も早く訪れることを、職員一同願っております。

(長谷川真美)



「職員ワクチン接種」

特別養護老人ホーム 天橋の郷

ご利用者さんとの他愛ない話が楽しい！

職員インタビュー

与謝の園
入職8年目

Q1.

普段の仕事内容を
教えてください。

訪問介護・訪問入浴をしています。
ご利用者の住み慣れたお家で自立した生活を送れるようにサポートしたり、介護を必要とする方の食事や排泄、入浴といった身体介護などを幅広く行っています。

ご利用者のちょっとしたやりにくいことや困っていることなどを助ける仕事をしています。ご飯を作ったり、掃除をしたり、買い物に行ったり、お風呂の手伝いをしたり、おむつを替えたり、気持ちよく生活が送れるようにお手伝いをします。

私たちが訪問することで嬉しいとか温かい気持ちになってもらえるように、寄り添いながらいつも他愛もない話をしています。

自分からは話されないけれど、ふと

Q2.

この仕事をしようと思った
きっかけは何ですか？

した会話の中で新しい発見があったり、家族のお話などもたくさん聞かせていただいたりしています。
時には恋バナを聞いたり、昔のお話を聞いたりします。昔のお話はいいですね。

20歳の頃、特にやりたいことがなくて、何をしよう？この辺りだったらどんな仕事があるだろう？などと考えていて、とりあえず何か資格を取ろうと思いました。今から行けるところなどを考えて、福祉だったらこの先もずっと仕事があるかな、施設もいっぱいあるしどこか働ける場所があるだろうと思いき、短期ですぐに取れるヘルパー2級の資格を取りに行ったことがきっかけです。それから介護の仕事

に踏み出しました。

与謝の園は小学校の時に行事で何度か訪れたことがあり前から知っていました。

働いてちょうど8年が経ちました。嫌になったらやめようと思っていましたが、気づいたら8年が経っていますね。自分に向いているか向いていないかも分からないままこの仕事をやり始めたけど、楽しく仕事をやれているから向いていたのかなと思います。時には「大変だなこの仕事」と思うこともありますが、ずっと嫌にならずにや

りがいを持って仕事ができています。

Q3.

**この仕事をしてみて、
どのように思いましたか？**

とにかく毎日、「ご利用者の困っていることとか悩んでいることに対してずっと向き合い続けている」という感じです。あれができない、これができないということに対して、どうにかできないかと考えます。洗面所に行くことは大変だから歯磨きができないけど、場所を変えて近くに置いてあげたら自分でできると思いました。

できないことを私たちがすることがすべて良しではなくて、その方ができる方法を考えてあげられたらと思

います。

できないことでもできる力があるのであれば、一緒にしてあげたいです。薬をよく飲み忘れるけど、もうちょっと分かりやすいようにすれば飲み忘れることもないと思い、お薬ボードを提案しました。袋から毎日出していたら飲んだか飲んでいないか忘れるから、お薬ボードに貼って飲んだか見やすいようにして、自分一人で確認できるようにしたり、ひと目で分かるようにしたりと工夫しています。

Q4.

**プライベートと仕事の
バランスはどうですか？**

家庭と仕事の両立ということで大

変なことはありませんが、美味しいものを食べ、好きなことをして、休みの日は思いっきりリフレッシュしています。しっかりと休みもいただけるので、ゆつくりできています。仕事は持ち帰りたくないの、家ではゆつくり好きなことをして、自分の時間を過ごしています。最近は特にどこにも出かけられず、家で子どもが録画したアニメと一緒に見たりすることもあります。「新しいおもしろいのあるんだ」と子どもから勧められて見てみると、とてもおもしろくて、漫画も揃えなくなりました。実写化している映画も観たくなりました。(笑)

Q5.

**地元で働くことについて、
どのように思いますか？**

家から近いのでとても助かります。通勤時間があったいらないと感じてしまったりするので、ありがたいです。できれば地元で働きたいと思っていました。

ほとんどの人がこの地域から出て行ってしまっから、同世代の人はあまりいないです。最近、与謝の園にも同世代くらいの人が入ってきてくれたので嬉しいです。やっぱり同じくらいの人がいって、一緒に働けたら嬉しいで

すね。

実家も近いので、よく帰ります。この町ですべてのことが済んでしまいます。

この町で一番好きなところは、加悦大橋から見える景色です。通る時には、絶対に加悦谷平野を眺めます。

Q6.

**今後の展望を
教えてください。**

与謝の園や北星会で車を使わない時間帯に、タクシーのような送り迎えのシステムができたと思います。ここから福知山や舞鶴の病院に行くとなると、バスや鉄道で行ったり、わざわざタクシーを呼んだりご家族に仕事を休んでもらったりしないといけないので大変になります。行って帰ってするだけで疲れてしまいうです。それに加えて交通費もたくさんかかってしまします。バスが通らなくなったりも場所もあり、どこに行くにも時間やお金が多くなって大変です。せっかく良い車があるのなら、私たちとお話をしながら楽しく病院や買い物に行けるような交通手段として、役に立てたら良いですね。

ポニーふれあい体験

栗田のびのび放課後児童クラブ

今年度最初のイベントとして、京丹後市にある『レストこのしろ』からポニーのハルくんをお迎えし、「ポニーふれあい体験」を実施しました。SDGsの12「つくる責任つかう責任」を意識し、人参やリンゴの皮・切れ端などを家から持ち寄ってエサとして再利用しました。



ハルくんが来るまで「早くエサあげたい!」「乗りたい!」と言っていた子どもたちですが、いざ目の前に乗ると「怖い!」「やつぱり乗らん!」という声があちこちから聞こえてきました。実際に触れたりエサをあげたりしていくうちに少しずつ慣れていき、希望者は乗馬も体験しました。終わりが近づくにつれて「もっと触りたい!」と、ふれあいをとても楽しんでいる様子でした。ハルくんが帰ってから、絵を描いたりおもちゃでハルくんを作ったりと、しばらく残る余韻。普段なかなかできないことを体験し、子どもたちは嬉しそうでした。

(高原望乃)

神楽がないならつくっちゃえ!

特別養護老人ホーム 与謝の園



ひと噛みで一生健康に

与謝の園には毎年春の例祭に、与謝野町明石地区の神楽と子ども神輿がきてくれます。しかし、新型コロナウイルスにより祭りが中止となり、2年続けて寂しい例祭となるなか…どうですか? この凛々しい神楽組の職員。にぎやかな囃子が遠くから聞こえてきたかと思えば、大きなお頭の神楽が目に見えます。着ている法被は職員が我が地域のものをお借りして持ち寄り、笛や太鼓も揃えて今年ついに与謝の園にも神楽組が誕生しました。ご利用者の皆様に少しでも祭りの雰囲気を楽しんでもらいたいという職



員の熱い思いが形となり、おひとりずつ皆様のものをまわりました。「神楽が見られるなんて思わなかった」「びっくりした」と歓声があがり、皆様にお祭りの雰囲気味わってもらうことができました。「神楽に噛んでもらいたい」とのご希望が多く、中には両手を合わせて「ありがたや」と噛んでもらわれるご利用者もありました。子どもが神楽に噛んでもらうと賢くなれると言いますが、与謝の園の神楽に噛んでもらうと健康になれます!来年は明石地区の神楽・子ども神輿と、与謝の園神楽のコラボレーションをぜひ見てみたいものです。特養のご利用者の皆様に祭りを感じていただいたあとには、与謝の園神楽は勢い余ってデイサービスまで遠征に。こちらでもまた大きな歓声に包まれていました。

(相談員 芝井絵美)



みんな楽しく 園芸レク

グループホーム 天橋の家



すくすく
育っています♪



グループホームも新施設になり、今年度からは本格的に園芸に挑戦！

今までは建物の二階だった分、畑を借りても行くまでになかなか時間がかかっていました。今季はまずはプランターでの栽培にチャレンジ♪

野菜は、ミニトマトとピーマンとナス。お花は朝顔やひまわりをタネから発芽させ頑張っています。足りない知識は、今まで畑をされていたご利用者に沢山教えていただき、水やりなども毎日の楽しみになっています。早く大きくなあれ(´▽`)

(大松智史)

セラピーレク

特別養護老人ホーム 与謝の園

～手のぬくもりでゆっくりリラックスタイムを～



皆様は人に触れてもらったときに、どのように感じられますか……。私はご利用者の手に触れたときに、「あんなの手はあったかいなあ」と言われたことで喜びを感じました。この頃からハンドセラピーに興味を持ち、今年度からご利用者に向けてセラピーレクに取り組むことになりました。

5月13日、記念すべき第1回目のセラピーレクです。アロマを焚き、静かな音楽を流して、ご利用者がリラックスしてセラピーを受けられるような雰囲気づくりから始まります。セラピーを受けるご利用者の手や背中を丁寧にマッサージすると、とても気持ちよさそうにさ

れていました。拘縮している指がだんだんと伸びてくる様子を見たときは、とてもうれしく思いました。

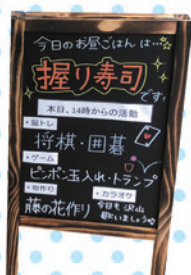
セラピーレクでは、身体に拘縮や緊張、強張りがあり、レク活動への参加が苦手なご利用者や、居室で過ごされることが多いご利用者が参加できるようにと思い、居室を訪問してのセラピーにも取り組んでいきます。次回からも半年間、継続してご利用者にセラピーレクに参加していただき、身体や気持ちにどのような変化があらわれるのかを一緒に感じていきたいと思えます。

(介護職員 藤田祐子)



その日の気分で！ 選べるデイサービス

天橋の郷 通所介護事業所



選

べるデイサービス

今年度から、より一層の発展を図り、案内板を導入しました。その日のグループ活動やレクリエーションのプログラム・月単位の行事案内などを書き込み、デイホールの入り口に毎日設置しています。

毎朝、来所して最初に目に入るように設置し、ご利用者間の話題作りも担っており「今日は玉入れするらしいで」「わたしは習字が書きたいだなあ」「今度美味しいもんが食べられるみたいやで」と、色んな所で話に花が咲き、朝から盛り上がっています。

小グループ化を図っている活動で

天橋の郷デイサービスでは、開設した平成17年度より『京都市選べるデイサービス』に取り組んでおります。

毎日、様々な活動やレクリエーションのプログラムを準備し、ご利用者様がご自身で参加するものを選ぶ事で、主体性を保ち、一層意欲的に参加していただく事を目的として取り組んでいます。



思い通り完成です！

すが、ゲーム・物作り・脳トレ・カラオケなどを軸に内容の検討をしています。最近では、着用をお願いしている、マスクを入れるケースをご利用者全員に作っていただきました。

色とりどりのクリアファイルを切ってケースの形にし、テープなどで装飾をしました。とても好評で皆様愛用されています。

その他にも藤の花を作ったり、園芸をしたり、ニュースポーツに将棋・テーブルゲーム…etc

これからも、様々な活動を準備して心身ともに心地よく過ごせる場所であるように努めていきたいと思っております。

(大浦俊輔)



編集後記

天橋園の新たな駐車場の横に、2本のシンボルツリーを植えました。平和を象徴する「オリーブ」と幸福を願う「ロドリイア」という樹です。北星会、そして地域の皆様に幸福が訪れ、平和に暮らせるよう、これからも明るく楽しい話題をお届けいたします。